

## < 合 言 葉 >

いつも 明るい あいさつ で  
なにごとに 全力で 取り組む  
だれにも やさしい 稲田っ子

# いなだっ子

笠間市立稲田小学校

学校だより NO.22

令和4年9月5日(月)

## 夏休みが終わって

9月1日(木)、42日間の夏休みが明け、子供たちが元気に登校してきました。各教室では、夏休みの宿題の提出や夏休みの思い出を一人一人発表していました。キャンプしたことや花火を見たこと、バーベキューをしたこと、親戚の家に遊びに行ったこと、工作をがんばったことなど、この夏休みにたくさんの思い出を作ることができたようです。

夏休みには4日間の登校日がありました。各学年で3時間の授業を行いました。その中で、1年生は、「笠間の民話を語る会」の皆さんをお招きして笠間の民話を学習しました。6年生は、朗読サークル「オリーブの会」の皆さんと被爆体験者の茂木さんをお招きして、平和教育を行いました。また、夏休み中には、サマーイングリッシュフェスティバルやサマースクールなどにたくさんの子供たちが参加しました。一つ一つが思い出になるとともに、体験した中で学ぶことも多かったはずです。知的好奇心を刺激しながら、できる喜びを味わうことができれば、学力も体力も自然と伸びていきます。これからもいろいろな角度から、子供たちの興味・関心を刺激して、学力や体力が向上するよう、支援していききたいと思います。

9月から12月にかけては、運動会をはじめ持久走大会や親子学習会、6年生の日光遠足など、学校行事がたくさん計画されています。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、これからも感染対策を講じながらの教育活動とはなりますが、これらの行事を通して、小学校での思い出を積み重ねていくと同時に、目標をもって取り組み、達成感を味わうことで、子供たちの大きな成長を促していきたいと思います。



## スキルアップディ

学習指導要領は、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準で、教科等の目標や大まかな教育内容を定めているものです。2020年度施行の学習指導要領では、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むことを目指しています。

現代は、社会の変化のスピードが速く、人々の価値観も多様化しています。このような時代に、幸せに生きるために必要なものは与えられる知識や技術だけではありません。自分たちが幸せに生きるために必要なことは、自ら考え、自ら行動する力です。そこで、本校では火曜日を「スキルアップディ」として、生きる力を育むために2つのことに取り組んでいきたいと考えています。この2つは、すららドリルと自分の好きな分野を探究していく学習です。それらを交互に行っていきます。

すららドリルは、笠間市内全小中学校に導入され、タブレットを使って誰でも好きな時間に自由に学習することができます。また基礎問題から応用問題までありますので、自分の学習の理解度に合わせて学習することができます。各単元ごとのドリル形式やテスト形式の問題、英検対策や漢字練習など、様々な問題を解くことができます。

自分の好きな分野を探究していく学習は、興味をもったことを深く調べていく学習です。この探究学習は、自分で課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析していきます。本やタブレットを使って調べたり、人から聞いて調べたりと自分の興味・関心に応じて学んでいきます。

与えられた課題のみを学習するだけでなく、週に1回、予測困難なこれからの時代を生きる力を、スキルアップディを通して育んでいきたいと考えています。スキルアップディの学習内容、進め方などについては、担任をはじめ学校全体でも一緒に考えていきます。